



Sophia University

国際共通語としての英語力向上を図る ～CAN-DOリストの学習到達目標～

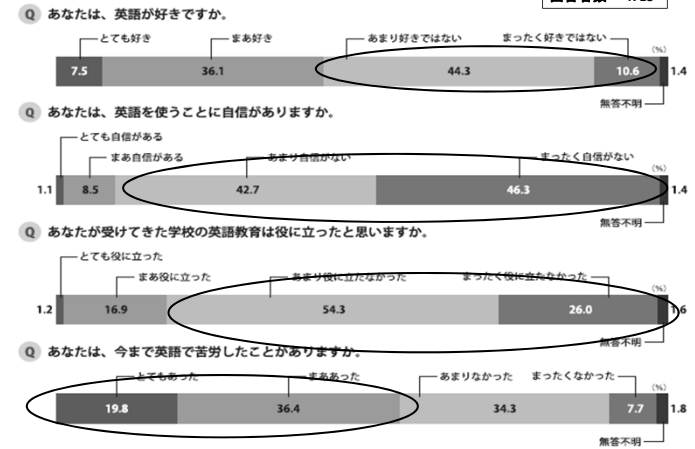
吉田研作

yosida-k@sophia.ac.jp

http://pweb.sophia.ac.jp/1974ky

第1回小学校英語に関する基本調査（保護者調査）2007. ベネッセ

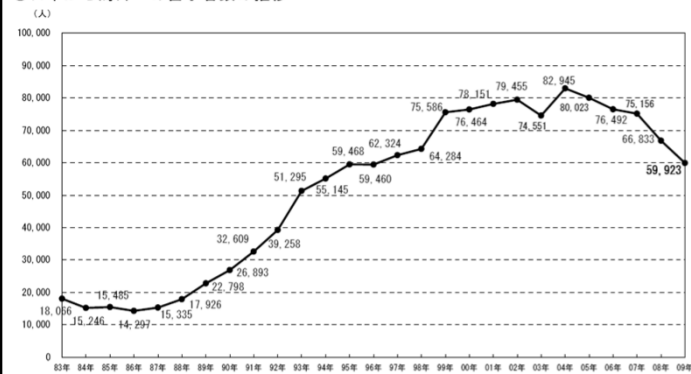
回答者数 4718



日本人の海外留学状況

ユネスコ統計局、OECD、IIE等における統計による、日本人の海外留学者数の推移

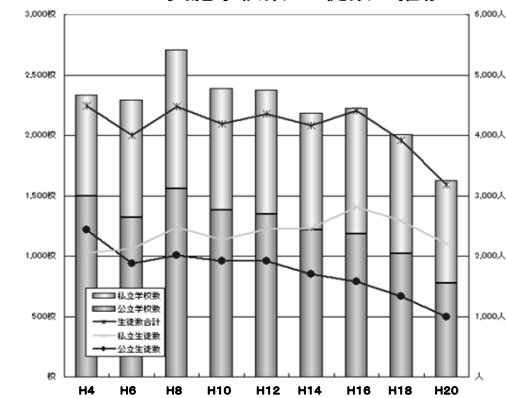
○日本から海外への留学者数の推移

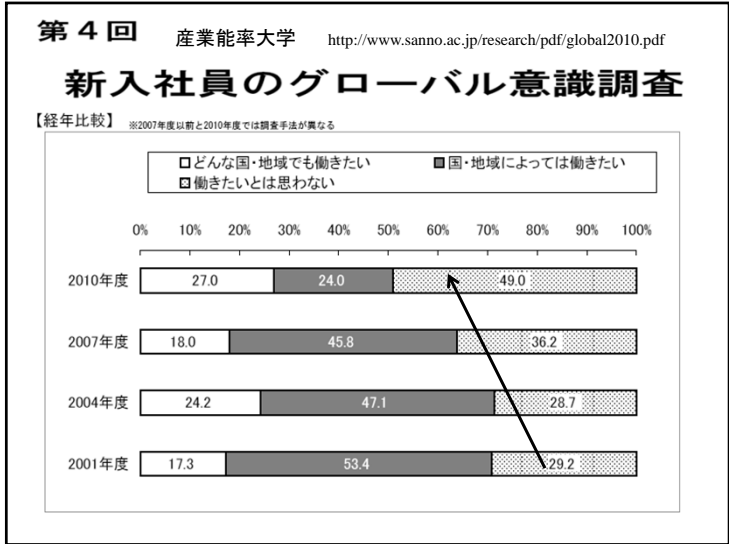
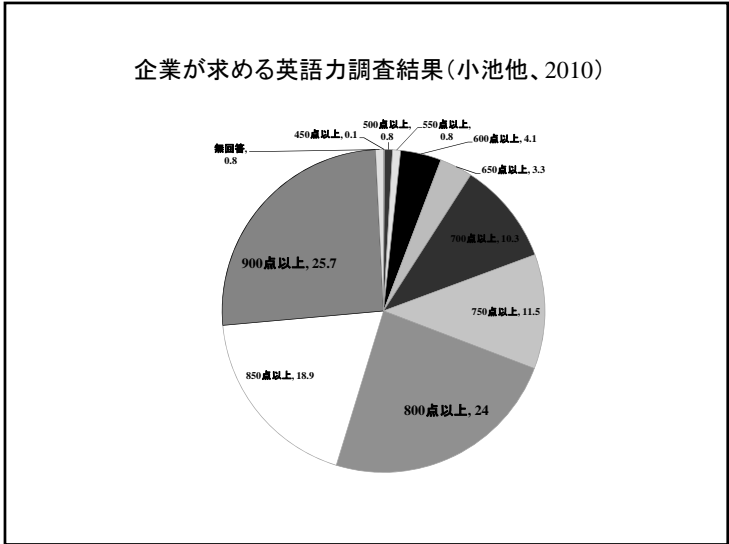
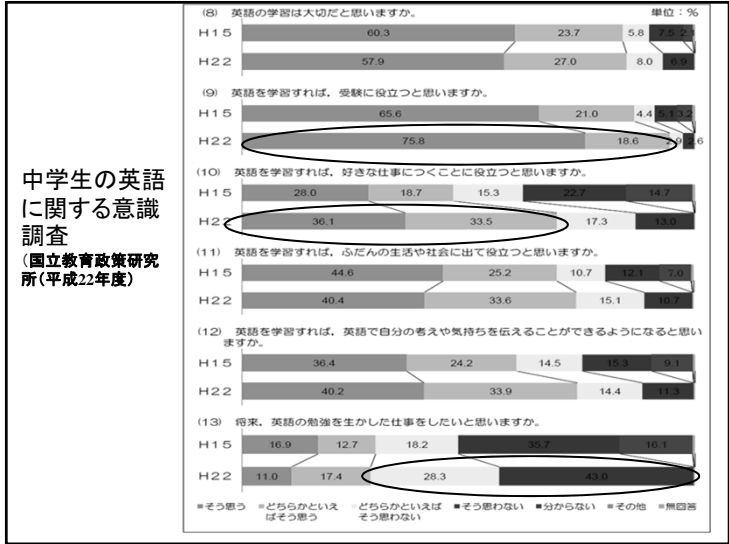
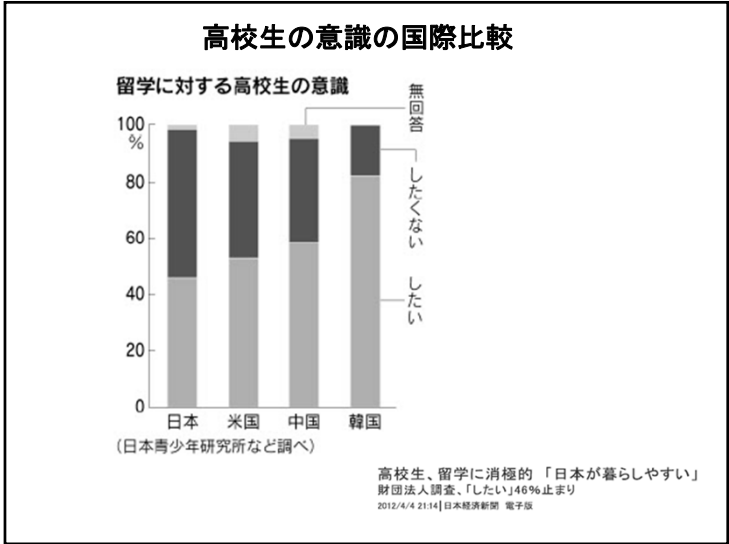


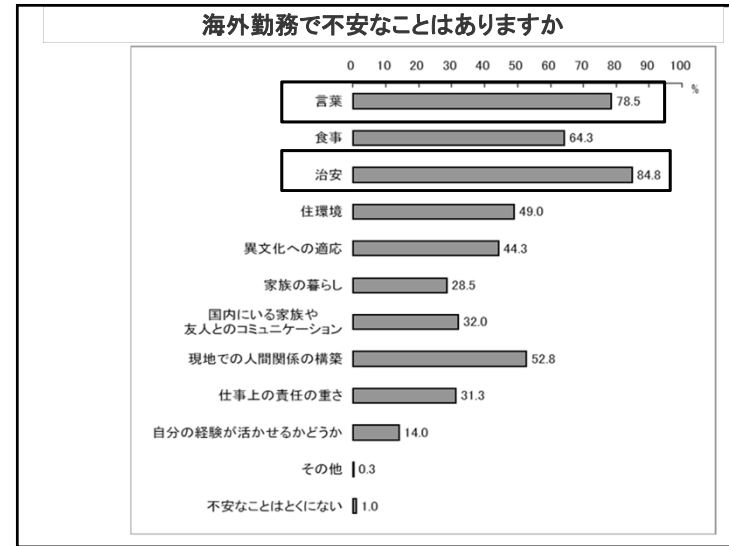
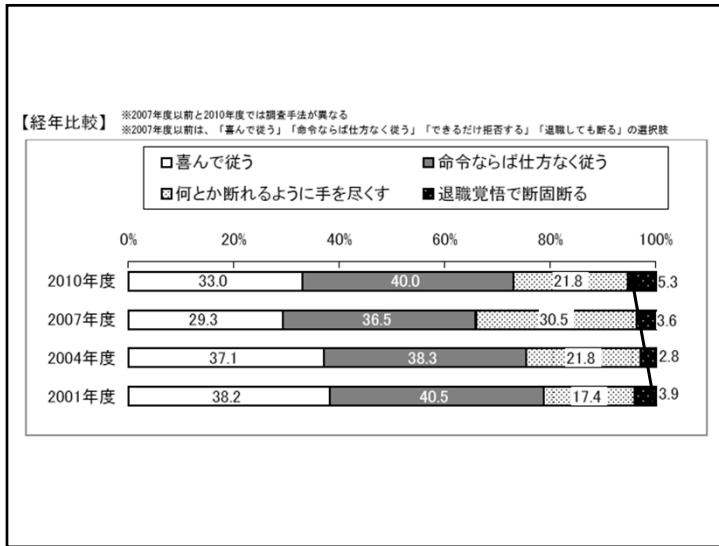
(出典) OECD「Education at a Glance」、ユネスコ統計局、IIE「Open Doors」、中国教育部、台湾教育部

高校生の留学(3ヶ月以上)について

実施学校数・生徒数の推移







iBT TOEFL (2011)—Asia の結果

ASIA	Reading	Listening	Speaking	Writing	TOTAL
Afghanistan	15	18	22	20	73
Azerbaijan	18	18	20	20	76
Bangladesh	20	20	21	22	83
Bhutan	16	18	21	20	75
Brunei Darussalam
Cambodia	14	15	18	19	66
China	20	18	19	20	77
Hong Kong	19	20	21	22	82
India	22	23	23	23	92
Indonesia	19	19	20	21	78
Japan	18	16	18	18	69
Kazakhstan	18	20	21	20	79
Korea, Democratic People's Republic of	19	19	20	20	78
Korea, Republic of	21	20	20	21	82
Kyrgyzstan	18	19	21	19	76
Lao, People's Democratic Republic	15	17	19	18	68
Macao	18	18	19	21	75
Malaysia	22	22	21	24	89
Maldives
Mongolia	17	18	19	19	73
Myanmar	17	17	19	19	72
Nepal	19	19	20	21	79
Pakistan	21	22	24	23	90
Philippines	21	22	23	23	88
Singapore	24	25	24	26	99
Sri Lanka	19	20	21	21	81
Taiwan (Republic of China)	19	19	19	20	77
Tajikistan	15	16	21	18	70
Thailand	18	19	19	20	75
Timor-Leste
Turkmenistan	17	20	20	19	76
Uzbekistan	17	19	21	20	76
Vietnam	19	18	18	21	76

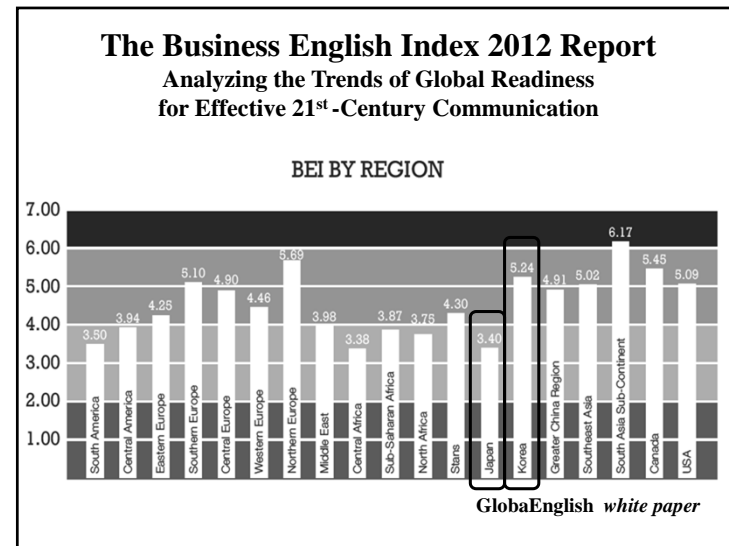


図8：IMD 世界競争力ランキング（2011年）

<全体順位>（59か国・地域中）

日本	27位
----	-----

<我が国が強い指標>

・平均寿命	1位
・環境技術	2位
・研究開発投資	3位、4位

<我が国が弱い指標>

・携帯電話料金	59位
・外国語のスキル	58位
・依存人口比率	55位

出典：IMD ランキング 2011

グローバル人材育成推進会議 審議のまとめ

我が国がこれからのグローバル化した世界の経済・社会の中にあつて育成・活用していくべき「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素が含まれるものと考えられる。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

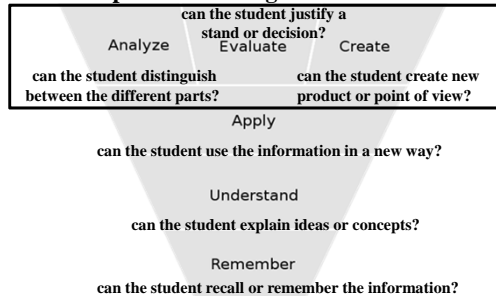
要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ

グローバル人材の能力水準の目安を(初歩から上級まで)段階別に表示すると、例えば、以下のようなものが考えられる。

- ① 海外旅行会話レベル
- ② 日常生活会話レベル
- ③ 業務上の文書・会話レベル
- ④ 二者間折衝・交渉レベル
- ⑤ 多数者間折衝・交渉レベル

国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策

Importance of Cognitive Processes



(Anderson & Krathwohl, 2001)

国際共通語として英語力向上のための5つの提言と具体的施策の報告書から：相手の意図や考えを的確に理解し、自らの考えに理由や根拠を付け加えて、論理的に説明したり、議論の中で反論したり相手を説得したりできる能力（言語力の育成）

国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策

国として到達目標を「CAN-DOリスト」の形で設定することに向けて検討する。中・高等学校は学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で設定・公表するとともに、その達成状況を把握する。

教育委員会や学校は、企業の協力を得て、英語を使って仕事をしている人の話を聞いたり、インターンシップに参加したり、海外修学旅行において現地法人の工場や支社を訪れたり、あるいは、それらを映像化したDVDを教材として活用したりすることや、英語で行われている大学の講義を受講することなどを通じて生徒が将来英語を使って活躍する場面を具体的にイメージできる機会を設ける

英語教員の更なる資質・能力の向上を図るために、教員に対する集中的な研修を実施することが必要であり、「日本人若手英語教員米国派遣事業」などの研修を引き続き実施するとともに、アジアなどの非英語圏の国々との間で英語教員に関する研修や教員交流を行ったり、各都道府県・指定都市における英語教育の指導者となるような教員を育成する研修を実施する。

CEFRjapan

レベル	A1	A2	B1	B2	C1	C2
読む	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を読み、意味を推測することができる。
聞く	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を聞き、意味を推測することができる。
話す	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を話し、意味を推測することができる。
書く	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。	簡単な文章や短文を書き、意味を推測することができる。

CAN-DO Criteria based on STEP Levels

<http://www.eiken.or.jp/about/cando/cando.html>

	Reading	Listening	Speaking	Writing
1級	社会性の高い幅広い分野の文章を理解することができる。	社会性の高い幅広い内容を理解することができる。	社会性の高い幅広い話題についてやりとりをすることができる。	社会性の高い話題についてまとまりのある文章を書くことができる。
準1級	社会性の高い分野の文章を理解することができる。	社会性の高い内容を理解することができる。	社会性の高い話題について、説明したり、自分の意見を述べたりすることができる。	日常生活の話題や社会性のある話題についてまとまりのある文章を書くことができる。
2級	まとまりのある説明文を理解したり、図や表から情報を得ることができる。	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	日常生活での出来事について説明したり、用途を伝えたりすることができる。	日常生活での話題について説明したり、用途のある文章を書くことができる。
準2級	簡単な説明文を理解したり、図や表から情報を得ることができる。	日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。	日常生活で簡単な用を定したり、興味・関心のあることについて自分の考えを述べるることができる。	興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。
3級	簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。	ゆっくり話されれば、身近なことに関する話や指示を理解することができる。	身近なことについて簡単なやりとりをしたり、自分のことについて述べるることができる。	自分のことについて簡単な文章を書くことができる。
4級	簡単な文章や表示・指示を理解することができる。	簡単な文や指示を理解することができる。	簡単な文を使って話したり、質問をすることができる。	簡単な文やメモを書くことができる。
5級	アルファベットや符号がわかり、初歩的な語句や文を理解することができる。	初歩的な語句や定型表現を理解することができる。	初歩的な語句や定型表現を使うことができる。	アルファベット・符号や初歩的な単語を書くことができる。

生徒の CAN-DO 項目

教室内オーラル授業活動

- 英語でのディスカッション
- 英語でのディベート
- 英語でのロール・プレイ
- 英語でのプレゼンテーション
- グループワーク(グループで行う英語を使った活動)について
- ペアワーク(2人で行う英語を使った活動)について
- 英語でのインタビュー
- 英語でのスピーチ
- 教科書本文内容のサマリー(概要)を英語で書く
- 英語でのスキット・劇
- 英語を使う場面でのジェスチャーについて
- 授業時間外で、英語のネイティブ・スピーカーの先生との、英語での自由な会話について

授業外での英語使用

- 英語での電子メールや手紙を受け取ったとき
- 英語で書く電子メールや手紙
- 英語で書くはがきやカード
- 英語での電話
- 英語の天気予報
- 英字新聞
- 英語での説明(例えば、英語で道をたずねられたり、切符の買い方をたずねられたとき)
- テレビ・ラジオでの英語音声のニュース
- 英語で書かれた「レシピ」(料理の作り方)
- 英語で書かれたインターネットのホームページ

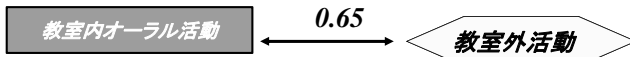
英語圏における日常会話

- 英語圏での服などの買い物
- ホテルでの英語のやりとり(例えば、英語で自分の行きたい場所や知りたい情報をたずねるとき)
- 街の掲示や案内
- 英語圏でのファースト・フード店
- 英語圏での公共の乗り物(電車やバス)のアナウンス

教師の教え方と生徒の Can-Do 意識の相関

科目	教え方	国内		英語圏(海外)
		教室内Oral活動	教室外	日常会話
OC科目	Critical Thinking	.484**	.515**	0.294
OC科目	個人レベル対話	.424*	.418*	0.211
ライティング	文章構成	.510**	.697**	0.376
ライティング	ディクテーション等	0.311	0.374	0.364
ライティング	Process ライティング	.389*	.485**	0.347
リーディング	概要・メインアイデア等	0.358	.495*	0.359
リーディング	背景知識等	0.24	.443*	0.242
リーディング	訳読	-.406*	-0.254	-0.12

* 複数の学校の英語の教師とその学校で学んでいる生徒のCan-do 意識との相関



Summer Teaching Program in Cambodia (Wat Chok Junior High School, Siem Reap)



Yoshida with Mr. Narong, Principal



(財)日本英語検定協会、上智大学と業務提携
「アカデミック英語能力判定試験」(TEAP)を共同開発

(1)入学者選抜のためのproficiency test(能力判定試験)

現在、上智大学の入学者選抜方式はさまざまだが、本試験はそのすべての選抜方式における英語力の指標として活用する。

(2)4技能(読む、聞く、話す、書く)の測定が可能

本試験を入学者選抜に利用するにあたっては、その利用形態の多様性を保証するため、以下の3つのカテゴリーから構成する。また、受験生に受験すべき組み合わせを学科別に指定する。

1)Reading & Listening test (Language knowledgeも含む)

2)Speaking test

3)Writing test

試験の形式や内容については、サンプル問題を公開する。

(3)結果をスコア制(標準化されたスコア)で採点

試験結果はスコア制で採点し、弱点を指摘し、受験生の今後の能力強化方法の発見に役立てる。

(4)受験者全員に対して、効果的なフィードバック(波及効果)を目的としたフィードバックを可能な範囲で実施

詳細(予定):

- 1)試験で計測した能力別のスコア
- 2)バンド(点数の幅)の表示
- 3)他試験(英検等)との相互関連性
- 4)英語でどのようなことができるか(英語の新聞が自由に読めるなど)等

25

References

Anderson, L. W. and David R. Krathwohl, D. R., et al (Eds.) (2001) A Taxonomy for Learning, Teaching, and Assessing: A Revision of Bloom's Taxonomy of Educational Objectives. Allyn & Bacon, Boston, MA
IMD 2012 Results World Competitiveness Yearbook.

<http://www.imd.org/research/publications/wcy/World-Competitiveness-Yearbook-Results/#>

投野由紀夫(2008)「中国・韓国・台湾・日本の英語教科書の特徴分析:CEFR準拠コースを使った比較」『第二言語習得研究を基盤とする小、中、高、大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究(基盤研究(A))研究成果報告書』, pp.97-102.

「国際共通語として英語力向上のための5つの提言と具体的施策」(平成23年7月13日)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/082/houkoku/1308375.htm

日本英語検定協会 CAN-DO Criteria based on STEP Levels

<http://www.eiken.or.jp/about/cando/cando.html>

文部科学省(2010)「日本人の海外留学者数」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/12/_icsFiles/afieldfile/2010/12/22/1300642_1.pdf

文部科学省(2004)「英語が使える日本人を育成するための行動計画」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/04042301/011/001.htm

文部科学省(2011)「グローバル人材育成推進会議審議のまとめ」

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/global/1206011matome.pdf>

文部科学省(2011)「日本再生のための戦略に向けて」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001ngpw-att/2r9852000001ngxy.pdf>

文部科学省(2011)「平成24年度文部科学省概算要求・要望のポイント」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/09/30/1311670_001.pdf

産業能率大学 <http://www.sanno.ac.jp/research/pdf/global2010.pdf>